

8-2-2 業界展望を考える若手技術者の会

1. 委員会の開催

委員会開催回数：10回開催

若手の会は、全国各支部から20～30代のメンバーを集め活動を展開している。若手の会は、月1回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。

2. 実績報告

(1) 全国各支部の若手組織代表者会議

全国各支部の若手組織の代表者を集め、10月22日に全国大会を開催した。内容としては、各支部で活動している好事例を共有すると共に、若手組織の活動目的、意義を再確認し、今後の活動のモチベーションとした。

(2) 建コン働き方アイデアソンの開催

建コン業界のあるべき働き方を考える上で、異業種の先進企業の制度や風土、ツールに学び、それを建コン業界に転用することが重要と考え、建コン働き方アイデアソン（勉強会）を開催した。本勉強会は、昨年実施したサイボウズとのアイデアソンの続編と位置づけたものである。

a) Grow with Google (70名、9月6日)

b) パソナグループ (40名、11月15日)

(3) 建コンアップデート研究所の取り組み

上記の参加メンバーが、アイデアソンで得た学びを自社の変革につなげる動きが出てきた。

A社：リモートワーク、服装自由化

働き方の多様（選択肢を増やす）

B社：ワークフローの電子承認化

生産性の向上（ムダの排除）

C社：社内働き方ワーキングを設立

全社的なムーブメントに拡大

D社：企業内若手有志組織の設立

タテ・ヨコ・ナナメの交流

こうしたアクションをさらに加速させることを目的に、アクション集積のプラットフォームとして「オンラインサロン建コンアップデート研究所」を設立し運営をスタートした。2020年3月時点で107名が参加し、日常的に議論している。

(4) 建コン採用市場活性化の勉強会

担い手確保問題に対して、さらなる転職市場の活性化を目的に、リクルートキャリアと連携し、勉強会を開催した。勉強会には、各社の人事・採用担当を中心に30名が参加した。勉強会成果については、協会ホームページにて会員企業に広く情報開示した。

(5) 土木学生有志ツナガルドボクとのJOBカフェ

学生時代の早い時期（1～2年）から社会との接点を持ち、社会人と日常的に交わることで社会で働くリアルを感じ取ってもらいたいとの思いで、土木学生有志ツナガルドボクと連携して、JOBカフェを開催した（40名、6月28日）。

(6) オンライン就活セミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、各種合同説明会が中止され、各企業による説明会もWEB開催に切り替わるケースが多くなっていた状況において、オンライン就活セミナーを開催した（3月10日、13日の2日間）。全国29大学から延べ78名の学生が参加した。

3. その他報告事項

若手の会メンバーは、全国各地に委員がいることから、業務調整がつかず欠席する委員も多かった。そこで、ZOOMというWeb会議システムを使った定例会を試行した。音声、画像とも問題なく実施でき、さらに採決、質疑応答も同システム内のツールを使うことで可能であった。その結果を受け、次年度も定例会のいくつかをWebで実施する予定としている。

4. 次年度の活動について

上記内容を継続的に実施する予定である。

（業界展望を考える若手技術者の会委員長
伊藤 昌明）